

## 第217回理事会 内山田 竹志会長 ご挨拶

本日は年度末の大変お忙しい時期にもかかわらず、リモートの方も含め、当理事会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、平素より私ども日本自動車会議所の活動に、格別のご理解とご協力を賜り、この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

まず、本年1月1日に発生いたしました令和6年能登半島地震において亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族ならびに被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。まさに2カ月前の今日というタイミングですが、なかなか復興が進まない状況も伝えられており、われわれも大変心配しております。

そういう状況で始まった本年は、ちょうど2カ月たったところですが、人々の動きが活発化してきていることを実感しております。繁華街やイベントでは多くの人の姿が見られ、有名観光地は外国人観光客であふれております。社会の動きはすでにコロナ禍前と同様のレベルに戻りつつあるとも感じており、理事会の席でこうして普通にみなさんとお会いし、ご挨拶ができることを大変嬉しく思っております。

先月2月9日に開催いたしました第3回「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」(CSP大賞)では、表彰式とそのあとに開催された交流会において大賞を受賞された自動車技術会様をはじめ、本当に素晴らしい取り組みを実践されておられる皆さまの声を直に聞かせていただくことができました。

CSP大賞は、自動車業界で働く550万人や自動車ユーザーの方々の日々の地道な活動や貢献に光を当て、あらためて「ありがとう」と感謝を伝える場をつくりたいとの思いから、2021年に創設しました。会員団体・企業の皆さまのご協力により、3回を無事成功裡に実施することができました。来年度以降も会議所の大切な事業として定着すべく、継続してまいりますので、皆さまにおかれましては、引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

これより、当会議所の来年度事業につきまして、

事務局より説明させていただきますが、特に「税制」につきましては、中長期的な視点に立った自動車関係諸税見直しの検討が進められ、「カーボンニュートラル目標実現」などを含めさまざまな論点を踏まえた具体的な改革案が出てくるものと承知しております。

さる2月15日、当会議所の税制委員会に私も出席し、自動車議連の甘利明新会長とも意見交換をさせていただきました。その中で甘利会長からは、自動車重量税や「当分の間税率」など個別の項目の議論ではなく、カーボンニュートラル実現時の税のあり方、受益と負担の関係のあり方を念頭に、抜本的な自動車税制の体系の組み換えを目指した全体議論をしていこうというお話がありました。甘利会長には今後もこうした意見交換の場を持っていただくことをご了承いただきましたが、当会議所といたしましても、今後自動車議連をはじめ業界内外の関係方面と議論を重ねていくうえで、自らが先頭に立って役割を果たしていく所存です。

加えまして、先ほどご紹介いたしました「CSP大賞」をはじめ、「交通安全」、「自賠責繰り戻し」、「クルマ・バイク好きの拡大」など重点事業を積極的に推進してまいります。

また、自動車産業という一つの産業を超えた、より広がりのある「モビリティを軸にした成長」、「モビリティがもたらす未来社会」に向けて、政府・経済界も動き始めております。「モビリティ」発展への機運を高め、「今こそ業界550万人の力を結集する時」をテーマに、業界結束強化と会議所の役割の認知向上を図るべく、積極的に参画してまいりますので、倍旧のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

本日の理事会は、当会議所の事業全般をご理解いただく上で、大変貴重な機会でもあり、理事の皆さまの忌憚のないご意見を伺いたいと存じます。それでは、ご審議のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



### 日本自動車会議所 第90回定時総会・懇親会 開催のご案内

【総会・理事会】2024年6月11日(火) 11:00～11:45 (経団連会館2階 経団連ホール)

【懇親会】同日 12:00～13:00 (経団連会館2階 国際会議場)